

工場見学に来ていただきました！

—高松市立弦打小学校 第4学年の皆様—



11月1日（水）、高松市立弦打小学校 第4学年 81名の皆さんが国分寺工場に見学に来られました。弦打小学校の皆さんは毎年見学に来てくださいます。

搬入されてきた容器包装プラスチックを降ろす様子や、ビンを色ごとに選別する様子などを見ていただきました。スチールプレス（スチール缶を四角く圧縮したもの）を見ていただいた際には、そのひとつのかたまりが約100kgで缶にして約3000本が集まってできていると知ると、「えーっ！」と驚きの声が上がっていました。



見学後には、「ペットボトルからリサイクルされた商品は売っていますか？」や「作業している人は何人いますか？」など、多くの質問をいただきました。ちなみに、ペットボトルは、ポロシャツなどの衣類やシートベルト、断熱材などに生まれ変わり、再び世に出回ります。私たちは日々生活する中で知らず知らずのうちにリサイクル品に囲まれて生活しているのです。



他にも「なぜ工場はこんなにおいがるんですか？」という質問をいただきました。

……よくぞこの質問をしてくださいました！

私たちも日頃からおいを減らすための努力をしていますが、成果は表れていないというのが現状です。

そもそも、はじめから私たちの工場が臭かったわけではありません。また、ビン・缶・ペットボトル・容器包装プラスチック自体に、元々においはほぼありません。



においの主な原因は、ビン・缶・ペットボトルの中の飲み残し・容器包装プラスチックに付着した食べ残しが腐ったものだと考えられています。また、このようにして汚れているものは、処理に手間がかかるだけでなく、リサイクル品の品質低下を招くため、リサイクルには向きません。

資源には限りがあります。

後世に資源を残すためにも、リサイクルに出す際には、『中身を空にし 水ですすぐ等して決められた収集日に』お願いします。

弦打小学校の皆さん、ありがとうございました。

